

事務事業名	市道穴見大呂線道路改良事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	道路改良G	
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	景山 泰彦	
	目的対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。		
	基本事業	〈034〉道路の新設・改良		電話番号	0854-40-1063 (内線) 2471	
目的対象	道路利用者	意図	安全で便利に移動できる。			予 算 科 目
			会計	0:140	0:3	大事業名 市道道路整備事業
			項 目	1:015	0:3	中事業名 起債道路整備事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市道及び市道利用者	道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H28 年度 ~ R4 年度 )	本事業は、掛合町穴見地内の生活路線の改良事業であり、道路幅員3mと狭隘なために一般車両の離合がしづらく、また緊急車両の通行も困難なことから、拡幅改良を行う。 整備延長 L=740m 幅員 W=5.0m
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) ・道路改良工事 ・舗装工事 ・電柱支障移転 ・水道支障移転 (R4事業完了)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 設計時に線形や工法検討、特に橋梁添架位置については費用比較を行うなどコスト縮減を図り、事業費の抑制に努めた。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 整備率(供用延長/整備計画延長)	%	10.8	10.8	100.0	
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
【地方債】過疎債 (工事費) 64,959千円 (補償費) 3,026千円 (事務費) 1,599千円 (合計) 69,584千円	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円	30,800	87,700	69,500		
		その他	千円					
		一般財源	千円	22	28	84		
事業費計		千円		30,822	87,728	69,584	0	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	狹隘箇所の解消および視距の改善を行い、道路利用者の安全性と利便の向上を図ることができた。
② 事業実施するうえでの課題	目標の達成には整備計画に基づき着実に事業進捗を図る必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	事業効果の発現には予算措置が必要となるが、市財政の圧迫に直結することから、道路整備計画に基づいた取り組みが重要となる。